



shaping your dreams

OSG 通信

第109期 上半期のご報告

2020年12月1日 ~ 2021年5月31日

【OSGレポート ダイジェスト版】



証券コード: 6136

OSG Corporation

ZERO-ONE

0から1を創生する発想力

オーエスジーは、世界トップシェアを誇るタップを柱に、
ドリル、エンドミル、転造工具などを製造・販売する総合工具メーカーです。
お客様の期待に応えるため、工具を通じたコミュニケーションを重視した体制で、
世界33カ国にネットワークを構築してきました。
私たちは、穴加工用切削工具で世界No.1を目指します。



『地球を吊る』

大地よりマグマを割り、地球から
伸びた鎖はあたかも地球を吊って
いるかのように見え、宇宙に向け
て発展するオーエスジーの企業
理念を表しています。

彫刻家 三澤憲司
2020年10月6日

Handwritten signature of Misawa in black ink.

CONTENTS

- 02 ごあいさつ
- 03 社長メッセージ
- 05 役員紹介
- 06 コーポレート・ガバナンス
- 07 環境への取り組み
- 08 社会への取り組み
- 09 財務・非財務ハイライト
- 10 会社情報／株式情報

本冊子について

本冊子は、オーエスジーの統合報告書「OSGレポート2020」のダイジェスト版として制作されています。持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すオーエスジーの姿を分かりやすくまとめました。尚、P09「財務・非財務ハイライト」P10「会社情報／株式情報」については2021年5月31日時点での最新の情報を記載しております。

「OSGレポート2020」オリジナル版

オーエスジーのWebサイトでは、オリジナル版(原本)の冊子PDF(全ページ)をご覧いただけます。冊子をご希望の方は、当社Webサイトの投資家情報に関するお問い合わせフォームよりご請求下さい。

冊子PDF：https://www.osg.co.jp/about_us/ir/financial/file/annual_report_2020.pdf



Toshiro Ishikawa

石川 則男

代表取締役会長 兼 CEO

Shiro Ohwaki

大沢 伸朗

代表取締役社長 兼 COO

はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、最前線に対応されている医療関係者の皆様に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

コロナ禍において当社は、社員の安全を第一とし、サプライチェーンも含めて事業活動に与える影響についての情報を集約したうえで、迅速な意思決定のもとビジネスの継続に必要な対策を講じています。グループ丸となってこの困難を乗り越え、すべてのステークホルダーの皆様に対する責任を果たせるよう、引き続き努力を続けてまいります。

当社グループは、「世界トップの穴加工用切削工具メーカー」を目指し、製品の拡販はもとより、販路拡大、業容拡大を目的とした

M&A、デジタルトランスフォーメーションによる生産性向上の取り組みなど、多角的な成長戦略を展開しています。さらに、社会の持続的発展に貢献するべく、環境への配慮やガバナンス強化、サステナビリティに対する情報開示など、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を取り入れたESGへの取り組みにも注力しています。

今後いかなる環境変化が訪れようとも、一つひとつの活動に真摯に取り組み、オーエスジーブランドの付加価値を高めてさらに皆様に信頼されるブランドへと成長させるべく、グループ全員が心一つに前進してまいります。

今後ともステークホルダーの皆様の格別のご支援とご理解をお願い申し上げます。

未来は自分たちの 手で創る

ALWAYS MOVING FORWARD

大沢 伸朗
代表取締役社長 兼 COO

プロフィール

1991年オーエスジー販売(現オーエスジー)入社。2006年執行役員欧州統括担当、2010年常務取締役、2019年取締役専務執行役員。2021年2月代表取締役社長兼COO(最高執行責任者)。愛知県出身。

2021年11月期の基本政策

2021年11月期の世界経済の行方はコロナ禍の影響により未だ不透明であり、あらゆる面で見通しを立てることが難しい状況にあります。しかし、中国や北米の経済は回復に転じており、欧州でも自動車産業が回復の兆しを見せるなど、明るい話題も増えてきています。当社グループにおいても、2020年秋

以降の受注は回復に転じており、そのような中、2021年11月期は以下の政策を着実に実行し、足元をしっかりと固めた経営を行っていきます。

最重要課題は、海外市場でのさらなるマーケットシェア獲得です。ニューノーマル化において中心となるのはカタログビジネスであり、フラッグシップ製品である「Aブランド」を核に、充実した海外ネットワークを通じて拡販を強力に推進します。加えて、新製品の投入も積極的に行い、市場におけるプレゼンス

向上にも注力します。

お客様のニーズにお応えして開発するオーダーメイド品については、これまで注力してきた自動車産業、航空機関連産業のみならず、5G関連やEV(電気自動車)、医療といった今後成長が見込まれる市場において、販路拡大を目指して顧客開拓を推進します。これらの分野は、コミュニケーションが大変重要なビジネスであることから、直接対面及びオンラインでの商談を使い分けながら生きた情報をつかみ、オーエスジエの技術力、対応力、競争力を発揮することで、成長市場の中でプレゼンスを高めていく考えです。

さらには、多様な業種においてますます需要増が期待されるコーティング事業の強化にも継続的に取り組んでまいります。

また、M&Aでグループ入りした会社とのPMI※においては、しっかりとリターンを出せる経営を優先し、シナジーの最大化を目指します。

※ Post Merger Integration(ポストマージャー・インテグレーション)

加速するEV化への対応

当社を取り巻く経営環境は大きく変化しており、中でも自動車業界におけるEV化の加速は、足元の最重要課題といえます。

EV化に伴い燃料系エンジン部品加工の減少が見込まれます。その一方で、新たな部品加工が発生するチャンスもあり、いち早く情報をキャッチし、スピード感を持って付加価値をお客様に提供していくことで新たなシェアを獲得したいと考えています。その際には、オーエスジエが進めてきた地球規模での技術、サービス、生産体制が大きくプラスに働くものと確信しています。

また、電動化部品に対応する新技術、新製品の分野におい

ては、近年強化を図ってきたコーティング技術を切り口に拡大させていく考えです。グローバルに展開しているコーティングセンターの拡充にも一層注力し、競合他社との差別化を図ります。

グローバル生産体制の再構築

世界17カ国に生産拠点を持つオーエスジエグループにとって求められるのは、各工場の稼働率を上げ、アウトプットを最大化していくための体制の整備です。現状では、工場間で生産品目に偏りがあることから稼働率にばらつきが生じていますが、グローバル視点で生産体制を整え、稼働率の向上と生産性の最大化を目指す取り組みを進めてまいります。具体的には、工場の規模に合わせた生産品目の見直し、省人化・無人化の設備拡充、ITを活用した情報の集約とプロセスの一元管理など、全体最適への取り組みを強化していきます。

10年、20年先に、輝くための道筋を

当社は、今年83周年を迎えました。この先、大きな節目となる100周年を見据え、10年、20年先に当社がいかに成長し、今以上に輝けるかどうかは、これからの5年間が非常に重要であると考え、経営陣一同気持ちを引き締めています。その道筋を示し、しっかりと導いていくことが、代表取締役社長としての私の使命であると認識しており、経営体制の一層の強化、充実を図るとともに、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

ステークホルダーの皆様には、今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

役員紹介



代表取締役会長 兼 CEO
石川 則男

代表取締役社長 兼 COO
大沢 伸朗

取締役(監査等委員)
大沢 吾平

取締役(監査等委員)
中川 威雄*

取締役(監査等委員)
小野 喬四朗*

取締役(監査等委員)
榊 佳之*

取締役(監査等委員)
高橋 明人*

取締役(監査等委員)
原 邦彦*

補欠の取締役(監査等委員)
山下 佳代子**

* 社外取締役
**補欠の社外取締役

常務執行役員
大沢 二郎

常務執行役員
大沢 秀朗

常務執行役員
竹生 光志

上席執行役員
彦坂 光義

上席執行役員
米田 能崇

上席執行役員
近田 幸典

執行役員
Jeffrey Tennant

執行役員
久留 俊弘

執行役員
鈴木 康司

執行役員
杉原 健也

執行役員
鄭 承鎮

執行役員
石田 修

執行役員
増岡 仁史

執行役員
松尾 直彦

G コーポレート・ガバナンス

当社は、「地球会社」という企業理念の下、コーポレート・ガバナンスの充実が重要な経営課題であると認識しています。コーポレート・ガバナンスを充実させる仕組みとして、企業倫理を高めるための具体的な行動指針である「OSG Philosophy」及び「オーエスジー企業倫理綱領」を、当社を含む全グループ会社の取締役、執行役員及び従業員に示し、コンプライアンス意識の向上を図っています。



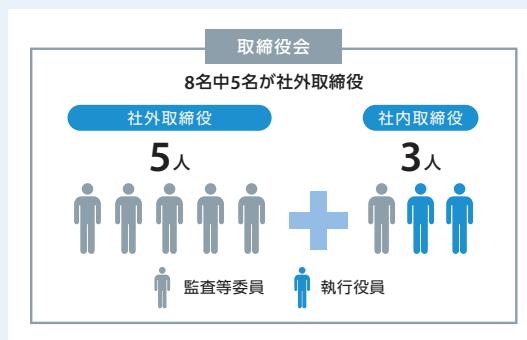
オーエスジーグループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

企業統治体制の概要

当社は、コーポレート・ガバナンス体制として、監査等委員会設置会社を選択し、取締役会、監査等委員会及び会計監査人を設置しています。業務執行は執行役員が行い、取締役会は、経営の意思決定及び業務執行の管理監督を行う体制とし、取締役会の役割を明確にしています。取締役会は、業務執行を行う執行役員を兼務する取締役(監査等委員である取締役を除く)を2名とすることで、意思決定の強化を計りつつ、監査等委員である取締役6名のうち社外取締役を5名とすることにより、取締役8名中5名(過半数)が社外取締役という体制とし、外部からの視点を生かし、取締役会の透明性、独立性及び経営監督機能を高めています。

また、当社は、経営環境の変化への的確な対応と業務執行の

機能・責任の明確化のため、執行役員制度を導入しています。執行役員は、取締役会で決められた方針のもと、業務の執行に専念し、機動的かつ迅速化と効率化を図っています。



企業統治体制の採用理由

当社では、現在のコーポレート・ガバナンス体制とすることで取締役会における経営の意思決定機能及び業務実行の管理機能の充実、経営効率の向上と的確かつ戦略的な経営判断が可能となっています。また、当社は6名の取締役(うち5名は社外取締役)で構成する監査等委員会が、代表取締役及び執行役員の職務執行及び業務や財政状況の監査等を行っています。当該

社外取締役5名全員が上場規則に基づく独立役員であり、これら独立性の高い社外取締役を含む6名の監査等委員である取締役が取締役会の構成員として、経営監督機能を十分に発揮できる環境にあるため、経営の透明性、適正性を確認、確保するコーポレート・ガバナンス体制であると考えています。



E

環境への取り組み

当社グループは、地球環境の保全が人類共通の重要な課題であることを認識し、「環境基本理念」に基づいて、資源の効率的な利用や環境に配慮した製品づくり、お客様への環境に優しい製品・サービスの提供などに積極的に取り組み、環境負荷低減と資源循環型社会の構築を目指します。



オーエスジーグループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

環境方針

「環境に優しい会社」「環境を大切にする文化」をスローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

2020年度環境実績及び2021年度目標

No.	環境目標		2020年度		2021年度目標
	項目	内容	目標値	実績値	
1	省エネルギー	総エネルギー使用量削減 (エネルギー源:電気・重油・LPガス) 総使用量 BM:95,676 GJ/月	1.0%削減 957GJ/月 削減	1.7%削減 1,588GJ/月 削減	1.0%削減 874GJ/月 削減
2	エコプロダクツ	環境に優しい製品開発	33点	34点	34点*
3	エコファクトリー	環境に優しい製品づくり	37点	70点	37点*

*環境活動のレベルアップ 当社基準点数化(満点60点)



第三者評価

2020年、日本機械工具工業会において「環境特別賞」を受賞しました

当社は、2020年10月7日、日本機械工具工業会 (JTA) の秋季総会にて、3年連続の廃棄物排出量削減や、5年連続の再資源化率ほぼ100%などの継続的な取り組みが評価され、「環境特別賞」を受賞しました。





S

社会への取り組み

当社グループは、持続可能な社会の発展に向け、株主の皆様をはじめお客様、取引先、従業員、コミュニティーなどのステークホルダーの皆様との健全な関係の維持・発展に努めています。社会を構成する一員として、ステークホルダーの皆様との相互理解の促進や貢献活動を通じ、社会とのより良い調和を図っていきます。



オーエスジーグループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

テクニカルセミナー

お客様満足度の向上のために、当社では対面型テクニカルセミナーとWeb版テクニカルセミナーを行っています。また、それぞれのセミナーごとに受講されたお客様の満足度やお気づきの点などアンケートを通じてキャッチし改善を重ね、次のセミナーがより良いものになるように努めています。

対面型テクニカルセミナーでは、お客様に当社へお越しいただき、座学とデモルームでの実加工を交えて知識を深めていただくコースに加え、来社が難しいお客様のために、当社スタッフが地方へ出張して行うコースがあります。しかし、現在はコロナ禍の影響を受け、対面でのセミナーは開催が厳しい

状況です。

一方、Web版テクニカルセミナーは、新型コロナへの感染リスクが抑えられるだけでなく、場所を選ばずどこからでも受講できることから、セミナーの新しい形として徐々にお客様へ浸透してきています。Webならではの利点を活かしたセミナーを意識し、より良いセミナーを実施することを心がけています。

今後は、Withコロナ・Afterコロナを見据え、Web版テクニカルセミナーの更なる充実と、対面型テクニカルセミナーが開催できるようになった時のために準備を進めています。

コミュニケーションダイヤル

コミュニケーションダイヤルでは、日々100件以上のお客様からの電話によるお問い合わせにお答えしております。お問い合わせ内容は、初歩的なものから実際の加工に即した具体的に難易度の高いものまで様々あります。内容によっては、設計・開発部門に確認することや、営業と連携を取って、営業社員にお客様への訪問を依頼することもあります。

また、お客様からの電話を確実に受信するために、受信率を指標として管理し、お客様の満足度向上に努めています。

さらに、お問い合わせのためのチャットの運用も開始したため、電話だけでなく、Webからもお気軽にお問い合わせいただける体制を整備し、お客様満足度の向上を目指します。「困ったときはオーエスジーのコミュニケーションダイヤルへ連絡すれば何とかしてくれる」という存在であり続けられるように、今後もお客様第一の精神でコミュニケーションダイヤルを進化させていきます。

財務・非財務ハイライト

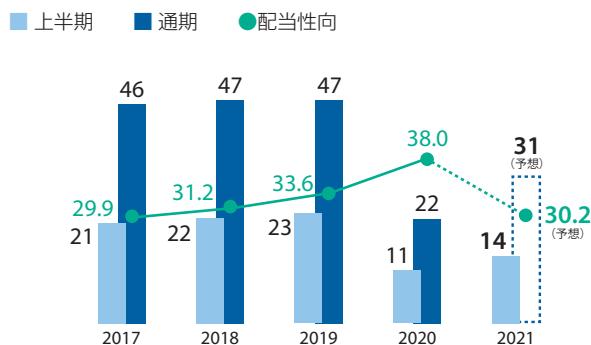
売上高(億円)



営業利益(億円) / 営業利益率(%)



配当金(円) / 配当性向(%)



当期純利益(億円) / ROE(%)



エネルギー使用量(GJ)

エネルギー使用量の生産高原単位(GJ/百万円)



CO₂排出量(t)

CO₂排出量の生産高原単位(t/百万円)



会社概要／株式の状況 (2021年5月31日現在)

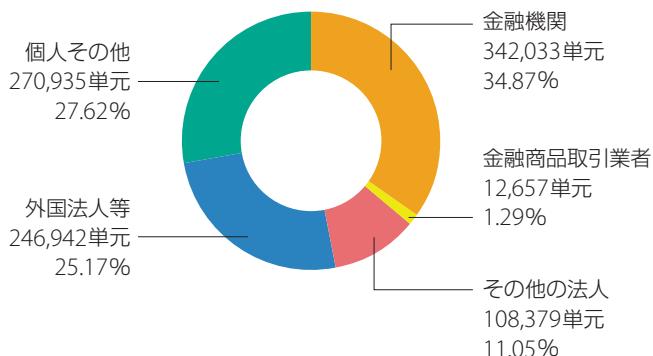
会社概要

商号	オーエスジー株式会社 OSG Corporation
本社	愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
設立	1938年3月26日
資本金	122億39百万円
従業員	連結7,430名 単独1,929名
事業内容	切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・ 機械部品の製造販売、工具の輸入販売

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式総数	98,196,724株
株主総数	7,458名

所有者別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



(注) 1. 単元未満株式は含まれていません。
2. 自己株式は「個人その他」に含まれています。

大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,790	8.95
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	6,003	6.11
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,183	4.26
オーエスジーエーエージェント会	3,198	3.26
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,096	3.15
オーエスジー持株会	2,602	2.65
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,350	2.39
株式会社三井住友銀行	2,100	2.14
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	2,049	2.09
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,972	2.01

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで

定時株主総会 毎年2月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所

証券コード 6136

OSG Today

医療従事者の皆様へ感染予防対策品を寄贈

当社が多くの事業所を構える東三河地区において、医療業務に従事し日夜貢献されている医療関係者の皆様に感謝と敬意の気持ちを込めて、医療用ガウン・マスク・消毒液・フェイスシールド等の感染予防対策品を寄贈しました。

2021年2月16日(火)には新城市民病院へ、2月26日(金)には豊川市民病院へ、3月3日(水)には豊橋市役所へ弊社の担当者がそれぞれ訪問し、感染予防対策品とともに今後も感染予防を心掛け、当社も継続して皆様への支援を続けることをメッセージとして贈りました。



当社会長の石川と
豊川市民病院のご担当者様

2020年“超”モノづくり部品大賞 「機械・ロボット部品賞」受賞

モノづくり日本会議および日刊工業新聞社が主催する「2020年“超”モノづくり部品大賞」にて超硬防振型ロング刃長エンドミル「AE-VML」が機械・ロボット部品賞を受賞しました。

この賞は、少子高齢化や環境保全、資源・エネルギー安定確保、国際競争激化等、日本のモノづくりが直面する課題の解決と新たな成長への道標となるような製品や部品に対して、その貢献を称えるというものです。

当社は3年連続で機械・ロボット部品賞を受賞しました。今後もこのような素晴らしい賞をいただけるよう、新製品の開発に取り組んでいきます。



3年連続受賞 機械・ロボット部品賞 表彰状



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131
<https://www.osg.co.jp/>

